



白石市立東中学校

令和4年度

第1学年 シラバス

目次

(1) 国語科	1
(2) 社会科	3
(3) 数学科	4
(4) 理科	5
(5) 英語科	7
(6) 音楽科	8
(7) 美術科	9
(8) 保健体育科	10
(9) 技術・家庭科	11

教科	国語	学年	1 学年	担当	大友千沙希（1 学年全クラス）
----	----	----	------	----	-----------------

【教科の目標】

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，日本の言語文化に親しみながら理解する。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつ価値に気付くとともに，進んで読書をし，日本の言語文化を大切にし，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【年間学習計画】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：単元テスト

月	単元・章	時数	主な学習内容	テスト
4	巻頭	5	・読む〈詩〉 風の五線譜 ・読む〈言葉の学習〉 話し方はどうかな ・言葉〈日本語探検〉 音声の働きや仕組み	
4 ～ 5	1 言葉を楽しむ	8	・読む〈言語感覚〉 詩の心ー発見の喜び ・書く〈詩歌創作〉 小さな発見を詩にしよう ・言葉〈文法の窓〉 文法とは・言葉の単位 ・言葉〈漢字道場〉 活字と書き文字・画数・筆順	
5 ～ 6	2 思いを捉える	1 2	・読む〈文学一〉 飛べ かもめ ・読む〈文学一〉 さんちき ・話す・聞く〈聞く〉 話を聞いて質問しよう ・言葉〈日本語探検〉 接続する語句・指示する語句	○
6 ～ 7	3 分かりやすく伝える	1 3	・読む〈構成・展開〉 オオカミを見る目 ・書く〈伝達〉 調べて分かったことを伝えよう ・言葉〈文法の窓〉 文の成分・連文節 ・言葉〈漢字道場〉 音読み・訓読み	○
8		2	・読む〈読書〉 碑	◎
9 ～ 10	4 考えをまとめる	2 1	・読む〈吟味・判断〉 私のタンポポ研究 ・書く〈論証・説得〉 根拠を明確にして書こう ・話す・聞く〈話す〉 中心を明確にして話そう ・言葉〈日本語探検〉 方言と共通語 ・言葉〈漢字道場〉 漢字の部首	
10 ～ 11 1	5 伝統文化に親しむ	1 7	・日本語のしらべ〈詩〉 月夜の浜辺 ・古典 移り行く浦島太郎の物語 ・古典 伊曾保物語 ・古典 竹取物語	

			<ul style="list-style-type: none"> ・古典 矛盾 ・書く〈通信・手紙〉案内や報告の文章を書こう ・言葉〈日本語探検〉語の意味と文脈・多義語 ・言葉〈文法の窓〉単語の分類 	○
1 1 1 2	6 作品を読み解く	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・読む〈文学二〉少年の日の思い出 ・書く〈描写・表現〉視点を变えて心情を描こう ・言葉〈文法の窓〉名詞 ・言葉〈漢字道場〉他教科で学ぶ漢字 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・読む〈読書〉風を受けて走れ 	
1 3	7 表現を考える	2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・読む〈言葉とメディア〉ニュースの見方を考えよう ・話す・聞く〈話し合う〉話し合いで理解を深めよう ・書く〈感性・想像〉心に残る出来事を表現しよう ・言葉〈文法の窓〉連体詞・副詞・接続詞・感動詞 ・言葉〈漢字道場〉漢字の成り立ち 	◎
		6	<ul style="list-style-type: none"> ・読む〈詩〉わたしの中にも ・読む〈読書〉トロッコ 	

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ノート, ワークシート	○	○	○
ワーク (国語のワーク)	○	○	○
定期考査, 単元テスト, 小テスト	○	○	

教科	社会	学年	1 学年	担当	千葉 彬人 (1・3組) 都澤 智洋 (2組)
----	----	----	------	----	----------------------------

【教科の目標】

- 社会的事象の意味や意義などを考察し、知識の概念化を図る。
- 考察・判断したことを論理的に説明したり、根拠を明確にして議論したりする力を養う。
- 現代社会や自分の生活との関わりを意識した課題を、主体的に解決しようとする態度を養う。

【年間学習計画】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：単元テスト

月	単元・章	時数	主な学習内容	テスト	
4	第1編【地理】 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	14	・地球の姿を見てみよう ・世界のさまざまな国々 ・地球上の位置を表そう	○	
5			・地球儀と世界地図を比べてみよう・日本の位置 ・日本と世界との時差 ・日本の領域の特色 ・北方領土、竹島と尖閣諸島 ・日本の都道府県		
6	第2編【地理】 第1章 世界各地の人々の 生活と環境	10	・雪と氷の中で、寒暖の差が激しい土地に暮らす人々 ・温暖な土地、乾燥した土地に暮らす人々 ・常夏の島、標高の高い土地に暮らす人々 ・世界に見られるさまざまな気候、宗教	○	
7	第1章【歴史】 歴史へのとびら 第2章 古代までの日本	35	・歴史をとらえる見方・考え方 ・身近な地域の歴史		◎
8			・世界の古代文明と宗教のおこり		
9			・日本列島の誕生と大陸との交流 ・古代国家の歩みと東アジア世界		
10					
11	第2章【地理】 世界の諸地域	29	・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	○	
12					
1					
2	第3章【歴史】 中世の日本	17	・武士の政権の成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開		◎
3					

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
ノート，ワークシート		○	○
ワーク（基礎徹底ワーク）	○	○	○
定期考査，単元テスト，小テスト	○	○	

教科	数学	学年	1 学年	担当	矢吹 馨
----	----	----	------	----	------

【教科の目標】

- 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【年間学習計画】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：単元テスト

月	単元・章	時数	主な学習内容	テスト	
4	第0章 整数の性質	3 25	・九九の表の数から、いろいろなきまりを見だし、説明する。 ・正負の数の計算をしたり、様々な事象における変化や状況を考察し表現したりする。	○	
5	第1章 【正負の数】				
6	第2章	18	・文字を用いることの必要性を理解し、数量の関係や法則などを文字を用いた式に表したり、計算したりする。	○	
7	【文字と式】				
8	第3章	14	・等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ・具体的な場面の問題において、一次方程式を活用し、問題を解決する。	○	◎
9	【方程式】				
10	第4章	22	・関数関係の意味を理解する。 ・比例、反比例について、表、式、グラフなどを用いて表したり、読み取ったりする。	○	
11	【比例と反比例】				
12	第5章	17	・平行移動、対象移動、回転移動について理解する。 ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解する。 ・基本的な作図の書き方や方法を知り、表現する。	○	
	【平面図形】				
1	第6章	18	・展開図や投影図について理解し表現したり読み取ったりする。 ・体積や表面積を求めたりする。	○	
	【空間図形】				
2	第7章	10	・ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考える。 ・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り考察し判断する。	○	
	【データの分析と活用】				
3	(予備時間)		問題演習		

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ノート		○	○
授業の様子	○	○	○
定期考査、単元テスト・中テスト	○	○	

教科	理科	学年	1 学年	担当	山口夏南子（1 学年全クラス）
----	----	----	------	----	-----------------

【教科の目標】

- 自然事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を身に付ける
- 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を身に付ける。

【年間学習計画】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：単元テスト

月	単元・章	時数	主な学習内容	テスト
4	単元1 第1章 生物の観察と分類のしかた	6	・生物を観察、分類するとき、どのような特徴に注目すればよいか考える。 ・身近な生物の観察を行う。	
5	第2章 植物の分類	9	・植物を分類するときには、どのような共通点や相違点に注目すればよいか考える。 ・実や種子をつくる花のつくりと変化を観察する。 ・植物のからだのつくりを観察する。	○
6	第3章 動物の分類	9	・動物を分けるとき、どのような共通点と相違点注目すればよいか考える。 ・動物のからだのつくりを観察する。	
	単元2 第1章 身のまわりの物質とその性質	7	・物体が何という物質でできているかを見分けるには、どのような方法があるか考える。 ・さまざまな金属の性質のちがいを調べる。	
7	第2章 気体の性質	4	・身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。気体の集め方について考える。	
8	第3章 水溶液の性質	6	・物質が水にとけるとはどのようなことか、とけた物質をとり出すにはどうしたらよいか考える。	◎
9	第4章 物質の姿と状態変化		・物質が状態変化するとき、どのような変化が起きるか考える。	○
10	単元4 第1章 光の世界	10	・光がどのような進み方をするか、光によってできる像にはどのような特徴があるか考える。	
11	第2章 音の世界	5	・音はどのように伝わるか、音の大きさや高さはどのように決まるか考える。	○
12	第3章 力の世界	8	・力はどのように働くか、どのように表すことができるか考える。	

1	単元4 第1章 火をふく大地	6	・マグマの性質と火山の形にはどのような関係があるか考える。 ・火山によってできる岩石を観察し、色やつくりにはどのような特徴があるか考える。		
2	第2章 動き続ける大地	5	・地震のゆれの伝わり方や地震に備えるためにどのようなことが必要か考える。		◎
3	第3章 地層から読みとる大地の変化	9	・地層のつくりとはたらき、地層によってできる岩石について考える。		

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ノート, ワークシート	○	○	○
ワーク (よくわかる理科)	○	○	○
定期考査, 単元テスト	○	○	

教科	英語	学年	1 学年	担当	高間 めぐみ
----	----	----	------	----	--------

【教科の目標】

- 学習した語句や文を理解し、使用する技能を身に付ける。
- 日本文化だけでなく、様々な国や人々の文化を理解できる。
- 学習した語句や文を使って、目的や場面、状況に合わせてコミュニケーションを図ることができる。
- 誰とでも積極的にコミュニケーションを図ろうとしており何事にも粘り強く取り組むことができる。

【年間学習計画】 ※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：単元テスト △：Speaking Test

月	単元・章	時数	主な学習内容【文法】	テスト	
4-5	Unit 0,1	2 0	・小学校の振り返り	○	
			・自分がふだんよくやることや、できることをつたえることができる。 【be 動詞文・一般動詞文・can の文】		
6	Unit 2,3	1 6	・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 【This is の文・He/She is の文・疑問詞 What, Who ,How 】	○	
7	Unit 3,4	1 4	・いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。 【名詞・疑問詞 Where, When, How many 】	○	
8	Unit 4	4	・相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 【前置詞、動名詞、動詞の過去形】		◎
9	Unit 5,6	1 5	・行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 ・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。【三人称単数現在形】	○	△
10	Unit 6,7	1 5	・自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、誰のものか尋ねたりすることができる。【疑問詞 Which, Whose・代名詞】	○	
11	Unit 8,9	1 5	・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 【現在進行形】	○	
12	Unit 9	1 0	・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。【不定詞、look 形容詞】		△
1	Unit 10	1 2	・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 【過去形】。	○	
2	Unit 11	1 0	・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。【be 動詞の過去形、過去進行形】	○	◎
3	Stage Activity	9	・思い出に残った行事について、発表することができる。		△

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ノート, ワーク	○	○	○
授業の様子	○	○	○
定期考査, 単元テスト, 会話テスト	○	○	

教科	音楽	学年	1 学年	担当	佐藤海仁（1 学年全クラス）
----	----	----	------	----	----------------

【教科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の 技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【年間学習計画】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

学期	月	題材名	教材名	題材の目標
1	4	校歌を歌おう。	校歌【歌唱】	歌詞の意味を理解し、大きな声で校歌を歌う。
	4・5	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	赤とんぼ【歌唱】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
			浜辺の歌【歌唱】	
	5	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	春【鑑賞】	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	5	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	ジョーズのテーマ【鑑賞】	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	5・6	曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう。	聖者の行進【器楽】	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。
	6・7	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ ・My Melody【創作】	音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
	7	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・指揮をしてみよう ・Let's Search For Tomorrow【歌唱】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
	8	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	魔王【鑑賞】	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
9	旋律の動きや英語の発音を意識して、表情豊かに歌おう。	エーデルワイス【歌唱】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	
2	9・10	曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。	合唱コンクール自由曲【歌唱】	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。
	11	世界各地の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	アジアの諸民族の音楽	我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
			日本の民謡【鑑賞】 音楽史【鑑賞】（資料）	
	12・1	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・虫づくし ・さくらさくら【器楽】	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。
箏曲「六段の調」【鑑賞】			音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
2	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。	旅立ちの日に【歌唱】	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ワークシート	○	○	○
観察	○	○	○
実技テスト	○	○	

教科	美術	学年	1 学年	担当	大道 篤（1 学年全クラス）
----	----	----	------	----	----------------

【教科の目標】

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 **【知識・技能】**
- 鑑賞における感性、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えながら主題を生み出し、豊かに発想・構想する。美術に対する見方・感じ方を深める。 **【思考・判断・表現】**
- 美術の創造活動の喜びを味わい、自ら表現・鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

【年間学習計画（全45時間）】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

月	題材名	時数	主な学習内容	作品提出
4	オリエンテーション	1	・今年度の学習計画を理解する。	
5 6 7	絵画 いろいろなスケッチ	10	・素描の基礎 ・明暗，立体のとらえ方 ・筆触，素材，用具の生かし方 ・作品の鑑賞 ※鑑賞1，展示1	7月
8 9	デザイン・絵画 自然の形や色彩 ～色との出会い～	5	・色の感情 ・色の三要素 ・色の三原色 ・配色の効果 ・絵の具を使った様々な技法	
10 11 12	デザイン 文字や形で伝える絵文字を 作ろう！	12	・レタリングの種類と技法 ・配色の効果 ・絵文字 ・絵の具による彩色表現 ・作品の鑑賞 ※基礎2，鑑賞1，展示1	12月
12 1 2	鑑賞，工芸 和風を味わう！	11	・暮らしに生かす日本の色や形	2月
2 3	彫刻 立体に表す楽しみ	6	・彫刻の技法 ・形，塊のとらえ方 ・質感，素材，用具の生かし方	

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
振り返りシート	○	○	○
アイディアスケッチや構想プリント	○	○	○
作品(制作過程を含む)	○	○	○
鑑賞プリント	○	○	○

教科	保健体育	学年	1 学年	担当	小椋好行
----	------	----	------	----	------

【教科の目標】

- 積極的に運動を楽しみ、自らの健康・安全を向上させようとする態度を身に付ける。
- 運動の仕方や心身の健康・安全に関する課題を解決するために、知識を活用し活動の仕方を工夫する力を身に付ける。
- 運動の特性や学び方、健康安全の意義を理解するとともに、基本的な運動技能を身に付ける。

【年間学習計画】※授業進度によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：単元テスト・スキルテスト

月	単元	学習内容	具体的な学習到達目標	テスト
4	体づくり運動	・体ほぐしの運動	・目的にあった運動の仕方を理解することができる。	
		・体力を高める運動	・自己の能力に適した課題を見つけ、運動の見通しをたて実践することができる。	
		(集団行動を含める)	・集団行動の基本的な行動様式を身に付けることができる。	
5 6	体育理論	・運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	○
	陸上競技	・短距離走・リレー	・滑らかな動きを身に付け走ることの楽しさや喜びを味わうことができる。 ・各競技の特性を理解し記録会を行うことができる。	
		・ハードル	・自己や周囲の安全に配慮し取り組むことができる。	
	保健	・心身の機能の発達と心の健康	・身体機能の発達について理解できる。 ・生殖にかかわる機能の成熟について理解できる。 ・精神機能の発達と自己形成について理解できる。 ・欲求やストレスへの対応と心の健康について理解できる。	
7	水泳	・クロール	・泳ぐ距離や速さを高めることができる。 ・水難事故防止に努め、健康・安全に留意することができる。	○
8	ダンス	・フォークダンス	・踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。	○ ◎
9	保健	・健康な生活と疾病の予防	・健康の成り立ちと疾病の発生要因について理解できる。 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の継続について理解できる。	
10	球技	・ゴール型(サッカー)	・基本的なボール操作ができ、それに伴った体の動かし方ができる。 ・ルールを理解し、練習やゲームをすることができる。 ・自己や周囲の安全に配慮し取り組むことができる。	○
11 12	器械運動	・マット運動	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うことができる。 ・技の名称や特性を理解することができる。 ・自己や周囲の安全に配慮し取り組むことができる。	○
1	球技	・ネット型(バレーボール)	・基本的なボール操作ができ、それに伴った体の動かし方ができる。 ・ルールを理解し、練習やゲームをすることができる。 ・自己や周囲の安全に配慮し取り組むことができる。	○
2 3	球技	・ゴール型(バスケットボール)	・基本的なボール操作ができ、それに伴った体の動かし方ができる。 ・ルールを理解し、練習やゲームをすることができる。 ・自己や周囲の安全に配慮し取り組むことができる。 ・基礎的な技能を身につけ、簡易ゲームをすることができる。	○ ◎

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ワーク、学習カード		○	○
定期考査	○		
スキルテスト	○		

教科	技術	学年	1 学年	担当	遠藤啓文
----	----	----	------	----	------

【教科の目標】

- 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決法を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間学習計画】※授業進度等によって計画に多少変更が入る場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：確認テスト ◇：実技テスト

月	単元・章	時数	主な学習内容	テスト	
4	・ガイダンス ・生活や社会を支える材料と加工の技術	2	・技術分野の学習の見通し，学習内容の紹介 ・材料や加工の原理・法則		
5		3	・製品の工夫と技術の進歩 ・ものづくりの進め方 ・材料の特徴	○	
6	・材料と加工の技術による問題の解決	3	・材料と環境とのかかわり ・問題の発見，課題の設定		
7		3	・使用目的と製作品の決定 ・機能の検討・工夫 ・材料の選択や設計の方法等の構想	◇	
8		1	・製図		◎
9 10 11 12 1		2 1 3	・製図 ・木材による製作 (部品表と行程表，けがき，切断，切削，穴あけ，部品の検査と修正，組立の検査と修正，表面の仕上げ)	◇	
2 3	・社会の発展と材料と加工の技術 ・生活や社会を支える情報の技術	1 7	・材料と加工の技術に関する技術の評価・活用 ・社会における情報に関する技術 ・情報通信ネットワークの構成と利用 ・情報を伝えるしくみ		◎

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ワークシート，発表	○	○	○
材料加工実習，製作品	○	○	○
定期考査，単元テスト	○	○	

教科	家庭	学年	1 学年	担当	遠藤啓文
----	----	----	------	----	------

【教科の目標】

- 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- 自分と家族，家庭生活を地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間学習計画】※感染症対策等によって内容を入れ替えて実施する場合があります。

※テスト ◎：定期考査 ○：確認テスト ◇：実技テスト

月	単元・章	時数	主な学習内容	テスト	
4	・家庭分野のガイドダンス	1	・自立と共生，問題解決の道筋，見方・考え方	○	
	・私たちの食生活	1	・学習内容について（食生活について） ・どうして食事をするのだろう ・私たちの食生活		
5	・中学生に必要な栄養を満たす食事	1	・栄養素ってなんだろう，中学生に必要な栄養		
		9	・食品に含まれる栄養素 ・何をどれくらい食べればよいか ・バランスの良い献立作り		
7	・調理のための食品の選択と購入	9	・食品の選択と購入	◇	◎
8			・生鮮食品の特徴，加工食品の特徴		
9			・食品の保存と食中毒の防止		
10			・日常食の調理（肉，魚，野菜）		
11	・地域の食文化	4	・日常食の調理（肉，魚，野菜） ・地域の食文化 ・日本各地の郷土料理	◇	
12	・生活の課題と実践	7	・食生活の課題と実践	○	
1	・日常食の調理と地域の食文化	2	・地域の食材を生かした調理		◎
2		・より良い食生活を目指して			
3		・持続可能な食生活を目指して			

【評価方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ノート，ワークシート，発表	○	○	○
調理実習，レポート課題	○	○	○
定期考査，単元テスト	○	○	